

石垣市立図書館システム保守管理業務委託プロポーザル 質疑及び回答

	質問内容	回答
1	7. 新システムの支援および保守(1) (2)に記載の内容に、当社の提供サービス時間外が含まれているのですが、仕様書に記載の日時に対応することが必須でしょうか。	仕様書「7 新システムの支援および保守」(1) (2)に記載のとおり、受付・対応時間は必須となります。対応時間は当館の開館時間が基準となっており、特に障害対応等については緊急対応を求める可能性があります。
2	7. (2)⑩毎年実施する蔵書点検期間中にハンディターミナル14台を貸出するとありますが、点検期間は何日間を予定されていますか。	蔵書点検期間は規則に基づき年間15日以内としています。
3	8. (2) 操作研修は新システム稼働日の2週間前から実施とありますが、研修は何日間を予定されていますか。	操作研修については、稼働日の2週間前から行い、おおむね8日間を想定しています。 参考例：1日～4日 基本操作説明（貸出、返却、利用者登録等）、 5日～8日 応用操作説明（予約、資料登録、リクエスト、相互貸借、移動図書館業務等）
4	3. カウンター業務-貸出業務-貸出手順-12 自館グループについて具体的に教えてください。	「自館グループ」とは「全館」「自館」に対して、移動図書館（BM）または分館を指します。
5	3. カウンター業務-貸出業務-画面展開-30 利用者仮登録と本登録の違いを教えてください。	事前にWebにて仮登録を行い、本館で本登録を行う場合の違いになります。石垣市立図書館では現在Webにて事前に登録（仮登録）を行っていません。
6	3. カウンター業務-貸出業務-表示情報のクリア-41 各種処理中(貸出処理、返却処理等)には表示クリアをすることはできませんが、処理後の画面クリアのイメージでよろしいでしょうか。	その認識で相違ありません。
7	3. カウンター業務-返却業務-返却処理-13 「相互貸借依頼中資料をチェックし表示ができること」とありますが、何をどのようにチェックするのか具体的に教えてください。	相互貸借した資料を利用者から返却があった場合、「相互貸借資料です」というメッセージを表示することです。

石垣市立図書館システム保守管理業務委託プロポーザル 質疑及び回答

8	3.カウンター業務-返却業務-予約対応-50 セルフ予約棚機能について、図書館システム上ではどのような機能が求められていますでしょうか。	図書館職員を介さずに、予約が、予約本の確認と受け取りを行うサービスとして必要とされる機能をご提案ください。
9	3.カウンター業務-返却業務-レシート印刷-57 回送指示票とは具体的にどのようなものでしょうか。	移動図書館（「他館所蔵」）の資料が本館で返却された場合、所蔵館が異なることを通知し、本館へ回送する指示票（レシート）を印刷したものです。本館の資料を移動図書館で返却された場合も同様に回送指示票を発行することが可能です。
10	3.カウンター業務-予約リクエスト業務-予約処理-32 貸出可能な資料があっても予約ができることという意味でしょうか。	利用者からリクエストがあった本をシステムにて書誌登録します。その場合、未所蔵の書誌になりますが、リクエストをした利用者を優先的に予約するため、未所蔵ですが予約が可能となります。
11	3.カウンター業務-予約リクエスト業務-予約処理-44 「代表サブタイトル」とは何を指しますか？	副書名や叢書名などを指します。システムにてどちらをサブタイトルにするか設定可能です。
12	3.カウンター業務-予約リクエスト業務-予約変更・取り消し-75 予約変更とはどのような処理でしょうか。	予約の優先度の変更や受取場所の変更など様々な情報の変更を示します。
13	3.カウンター業務-相互貸借業務-受入処理-3 受入前に貸し出すということでしょうか？	他の図書館から資料を受け取ったら、図書館システムに登録することを示しています。
14	4.資料管理業務-ローカルデータ管理業務-ローカルデータ管理-10 資料の除籍・復籍処理を連続で行うというのはどのような処理でしょうか。	資料を除籍または復籍する際、バーコードの読み取り処理を連続して行える処理のことです。
15	6.発注・受入管理業務-発注・受入管理、受入処理-28 新着資料と通常資料は管理上どのような違いがありますか。	受入日からシステムで設定した期間を自動的に新着資料と指定することができます。新着資料と判断された資料に対しては、WebOPACなどで新着資料から検索することが可能です。
16	7.利用者管理業務-利用者管理-利用者検索-1 「利用者状態区分」とは具体的にどのようなものですか。	「利用停止」や「除籍」など利用者の状態を示します。状態によって様々な制限をかけることが可能になります。現時点の項目には「利用可能」「仮登録」「簡易登録」「除籍」「除籍予定」「貸出禁止」「利用停止」「館内貸出のみ」「仮発行」があります。

石垣市立図書館システム保守管理業務委託プロポーザル 質疑及び回答

17	7. 利用者管理業務-利用者管理-利用者抽出-15 「団体利用者」「相互貸借利用者」とは具体的にどのような利用者でしょうか。一般利用者とのような違いがありますか。	「団体利用者」とは、保育園や小中学校などの団体が登録している利用者です。「相互貸借利用者」とは、石垣市立図書館に所蔵のない資料を他館から借受する際の図書館、資料館等の利用者です。
18	7. 利用者管理業務-利用者管理-督促・予約処理-31、33 印刷は今回調達対象となっているプリンタで行うのでしょうか(圧着用紙や秘匿感熱はがきに対応している必要がありますか)	今回調達対象となっているプリンタで行います。圧着用紙や秘匿感熱はがき等の印刷は行っていないため、その機能については対応している必要はありません。
19	8. 館内 OPAC-館内 OPAC-利用状況照会-71、72 71 返却期限が過ぎている貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること 72 返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長が制限できること →71で設定している場合には72は返却期限を超過した資料がある時点で延長不可となりますが、71の場合と72の場合があるということでしょうか。	基本的に71で設定している場合、72の内容も含まれます。返却期限が過ぎても、延長処理ができる猶予期間を設定することが可能です。猶予期間を設定し、予約が入っている資料を持っている場合、猶予期間内でも延長処理ができないパターンが72にあたります。
20	8. 館内 OPAC-館内 OPAC-お知らせ-106 「催し物表示」とはどのような表示を想定されていますか。	催し物として図書館様にて設定した内容が、館内 OPAC のリストとして利用者へ公開することが可能です。
21	10. 帳票・統計-帳票・統計-帳票-蔵書点検もれリスト 「蔵書点検もれ」とはどのような状況の時でしょうか。	蔵書点検期間中に、点検できなかった点検対象の資料で、後に不明本に確定される資料のことです。
22	10. 帳票・統計-帳票・統計-帳票-移動統計年報、移動統計月報、移動統計日報「移動統計」とは具体的にどんな統計ですか。	移動図書館にて処理した「貸出数、返却数、利用人数、利用者登録、予約」等をステーション毎に集計するものです。
23	単独(一社)ではなく、共同企業体での提案は可能でしょうか。	共同企業体での提案は想定しておらず、実施要領でその条件を定めておりません。
24	共同体提案が可能な場合、「実施要領」2 参加資格要件⑩に「沖縄県内に本社(本店)または支社(支店)又は営業所を有していること」とありますが、この要件にあてはまる企業が1社以上あれば参加資格を満たせるでしょうか。	質問 23. への回答を参照願います。

石垣市立図書館システム保守管理業務委託プロポーザル 質疑及び回答

25	2と同様に共同体提案が可能な場合、プライバシーマークを取得している企業が1社以上あれば参加資格を満たせるでしょうか。	質問 23. への回答を参照願います。
26	「実施要領」2参加資格要件⑨に「人口30,000人以上の地方公共団体において本要件と同様の規模・内容の導入実績を有すること」とありますが、図書館システムを導入する場合の基準として「蔵書数」があると考えます。蔵書数による参加要件のご提示は可能ですか。	蔵書数による基準もあると考えますが、実施要領「2 参加資格要件」に「本プロポーザルに参加できる者は、「【様式1】参加申込書」の提出日現在において、以下の条件を全て満たす者とする。」と記載のあるとおり、⑨についても満たしていることが必要となります。
27	近年、民間企業や自治体だけでなく、図書館でのDX化推進も注目されています。図書館DXの推進についてご提案した場合、提案内容は評価にあたりますか。	石垣市立図書館システム保守管理業務委託プロポーザル評価基準における評価項目の追加提案として審査いたします。
28	「仕様書6ページ(7) 現行システムのデータ等の移行」について「本稼働(サービス開始)は令和7年12月1日」とあります。本プロポーザルでの最終進化結果が出るのが9月に入ってからとなっており、実質2ヶ月で新システム実装及びデータ移行、運用支援をしていくことになりかなりタイトな条件となりますが、12月1日に稼働することは確定でしょうか。	サービス開始は、12月1日に稼働することを確定しています。
29	「システム機器仕様書」に記載の内容については、同様の機能やスペックであれば、別のものを提案することは可能でしょうか。	業務上支障がなく、非機能要件として十分なパフォーマンスを確保できるのであれば、同様の機能及びスペックであれば可能です。